



わんどう あいさつ
「年頭の挨拶」

りじちよう おくやまはづき
理事長 奥山葉月

新しい時を迎え、みなさまが健康で過ごされていることを願っておりましたところ、新型コロナウイルス感染者が急激に増加してしまいました。当法人におきましては、各事業を利用されている方、ご家族、職員の健康を第一優先としながらも、できる限り変わらず事業を継続しております。本年もなにとぞ、よろしくおねがいします。

ご存じのとおり、当事者が中心となった運動団体であった当法人は1991年に自立生活センターとして事業所を開所しました。それから30年が経過し、これまでにいくつもの危機がありました。また、あつたと聞いています。

昨年11月に郵便や法人ホームページで文書にてお伝えしたように、現在、とてつもなく大きな危機を迎えています。今回の出来事で直接ご迷惑をおかけした方、また書面を読まれ、不安な思いをされた方に、心よりお詫び申し上げます。

現在も解決に向け、立川市、第三者委員会の皆様、弁護士のご協力をいただきながら、理事会、法人内部で実態解明、原因究明と改善に向け、継続して検証をすすめています。

また、直接的な原因や組織内の構造的な問題について外部の方の意見も踏まえ、法人理事会や職員との意見交換を深めながら、具体的な改善策を順次実施していく所存です。

第三者委員会のみなさまに調査し、取りまとめたいただいた報告書と法人で検証し、作成した報告書を年度内には公表できるよう、すすめています。

大変遅くなっており、心苦しい限りですが、もうしばらくお待ち下さい。

ふくし しょうがいしゃちいきじりつせいかつしえん じぎょう
福祉ホットライン《障害者地域自立生活支援センター事業》



今回は12月6日(月)～12日(日)まで開催した「2021年度立川市障害者週間イベント」について、ご報告させていただきます。「障害者週間」とは、「国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高める」ことを目的としています。立川市でも、市内の福祉関係団体や支援

機関から実行委員を募り、その年のテーマに沿って様々なイベントを行ってきました。

今年度のテーマを「勇気、配慮」とし、コロナの影響で他の会議が休止、紙面開催される中、感染対策を行いながら、予定通り実行委員会を開催しました。委員の皆さんからはとても積極的な提案や意見が出され、新しい取り組みも含めた多岐にわたる企画内容となりました。

「市内小学4年生が描いた作品、福祉団体・支援機関紹介パネル」など例年の展示のほか、障害のある子どもが主人公の絵本【てるちゃんのかお】を読んでの「感想文展示」、市内障害者等団体が製作したショートムービー【バリアフルライフ】の「上映&監督俳優トークショー」も行いました。「福祉作業所の作品販売会」では毎日100人ほどの大盛況で完売商品も多く出ました。予約制の「社労士による年金等相談室」やアイムホールでの映画「ワンダー君は太陽」上映会にも多くの方が来場して下さいました。

また、開催前の取り組みとして、広報の為にポスターやチラシ、クリアファイルに小学生が描いた作品を採用させていただきました。

今回、ショートムービー「バリアフルライフ」の監督、俳優の皆さんが映画制作にあたり、車いす体験を街の中で沢山され、その実感を元に脚本、役作りなど真摯に取り組んで下さっている様子を知り、改めて相手を知る事から深い共感や理解が始まることを感じました。

まだまだコロナの影が消えない毎日が続きそうですが、自分を守るだけに留まらず、周りの人を知ろう、繋がろうとするアンテナを張り続ける事の大切さを、障害者週間を通じこれからもお伝えしていきたいと思えます。

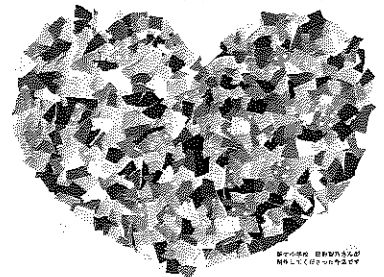
様々な形で障害者週間を応援して下さいました皆様へ深く感謝申し上げます。

すずき のりこ
(鈴木 徳子)

2021年 立川市障害者週間

タチカワワンダー-勇気でつながる立川は最高!

令和3年12月4日(月)～12月12日(日)



6月～12月(月) 9時～10時～16時 042-629-8876
7月～9月(月) 9時～11時～13時 042-629-8876
10月～11月(月) 9時～11時～13時 042-629-8876
12月(月) 9時～11時～13時 042-629-8876

〒187-8501 立川市立川1-1-1 立川市障害者支援センター
TEL: 042-629-8876 FAX: 042-629-8876

※2月10日号の広報たちかわにて「バリアフルライフ」のYouTubeアドレスが公開されます。是非お楽しみください。

たちかわししょうがいしゃしゅうろうしえん
立川市障害者就労支援センター はたらこ

◆ **職場紹介 PART 24** --

今回の訪問先はおれんじ・ふおれすと株式会社です。JR中央線の西八王子駅からバスで20分程のころの法政大学多摩キャンパス内にあります。法政大学の特例子会社として2011年に認定されています。法政大学では、『ダイバーシティ宣言』のなかで、「性別、年齢、国籍、人種、民族、文化、宗教、障がい、性的少数者であること」を理由として差別されることなく、これらの相違を多様性として受容し、理解を深め合うことを理念とされており、この一環として障害者雇用にも取り組まれていると伺いました。現在は、指導員は5名、障害のある方13名が働いています。

キャンパス内の宿泊施設、学生厚生施設、各棟トイレや研究室の清掃をする班が2つ、玄関マットの交換・洗浄や休憩場所などの見回りと掃き掃除を担当する班が1つ、寄せ植えの作成や設置を行う園芸班1つの計4班で構成されています。他に各班共通の作業として、オープンキャンパスや新入生ガイダンスなどで使用する資料の封入作業の業務がありますが、新型コロナウイルスの影響で、大学のイベントも中止やオンラインに代替されており、資料の封入作業量は減っているといえます。

ここで働くOさんは2017年に就職して今年で4年になります。就職をするまでは、通信制高校を卒業した後、5年間自宅で引きこもる生活をしていました。ご家族がOさんに障害があるのではないかと精神科クリニックを受診して、障害者手帳を取得、B型施設につながりました。学生時代のつまづきから社会性や対人関係の構築が弱く、ゆったりとしたB型施設でそれを徐々に身につけていきました。3年が経過したところで、はたらこに相談があり、体験枠として市役所実習に参加してもらいました。準備していけば一般就労可能と評価し、就労移行利用をアドバイスしました。この頃は「会社で働くこと」後ろ向きな面もありましたが、就労移行に1年通所した後、東京都教育委員会のチャレンジ雇用に就職したところで、はたらこが支援を引き継ぎました。3年が期限ですが、およそ2年が経過したところで就職活動を進めることになり、おれんじ・ふおれすと株式会社への就職が決まりました。

担当の指導員さんに就職後の4年間をお聞きしました。入社後は、一部の指導員さんとは話せず、報告連絡相談も希薄でコミュニケーションに大きな課題があったといいます。しかし、この4年でコミュニケーション面での伸びがあり、最近では実習生とペアになって、作業を教えることもしているようです。実習生に対して、自然なかかわりができることを評価してもらっています。

Oさんは、おれんじ・ふおれすとで働けるようになってよかったですと教えてくれました。お給料をもらえることや、苦手なことが自分でもできるようになっていると実感できていることが自信になり、「会社で働くこと」を前向きにとらえることができたようです。

引きこもりからB型、就労移行、チャレンジ雇用とステップアップをしてきたなかで、その時々に必要な支援を得て一般就労につながった例だと思えます。当センターだけではなく、地域の支援機関との連携がとても重要であると改めて感じました。Oさんが今後も安心して働くことができるように、生活面と精神面をこれからもしっかりと支援していきたいと思えます。



花の苗を鉢に植えている様子

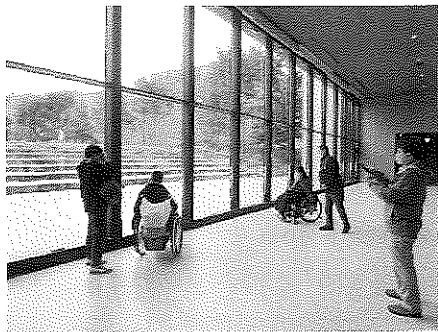
(川崎太郎)

じりつせいかつぶ 自立生活部 — じぎょうほうこく 事業報告 —

■おすすめスポット通信取材 「立川ステージガーデン」

今回は、立川の新しいおすすめスポット「グリーンズプリングス」にあるエンタテインメント施設「ステージガーデン」を紹介させて頂きたいと思います。

「ステージガーデン」は、「日本一開かれた劇場」を目指したホールです。その大きな特徴として、施設はホール内と屋外がつながる「一体型ステージ」になっています。



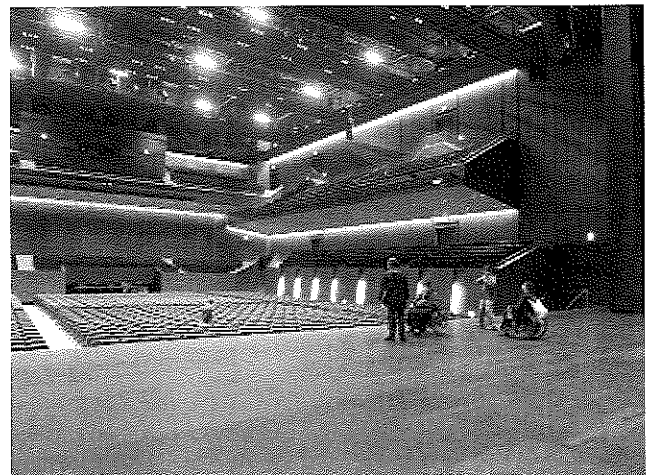
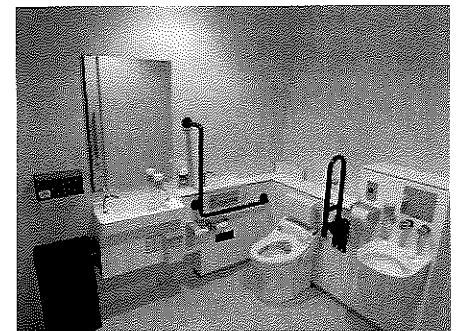
また、ホール内のピアノは開放されており、予約をすれば誰でも弾くことが可能です。屋上の小窓からは、舞台の裏を覗けるようになっています。

入り口やエレベーター、トイレのバリアフリーはもちろん、ピクトグラム(表示案内)にも遊び心があり、手を挙げているポーズになっています。また、客席には車いすスペースがあり、手すりも車いすの視点を考えたサイトライン(見えないようにならない工夫)が成されていたり、床にも音声補助のヒアリングループ(磁気ループ)が設置されていたり、様々な特色と配慮があります。

取材の中で、特別に楽屋も見させて頂きました。車いすで移動しやすいようフラットになっており、洗面所も膝が当たらないようになっています。驚いたのは、シャワー室まで車いすでも使えるようにフラットになっていたことでした。案内をしてくださったスタッフの方にお伺いすると、車いすの出演者にも当たり前前にバリアフリーを感じてもらいたい、とおっしゃっていました。

機会があれば、ぜひライブやコンサートに利用してみたいですね。

(大石 幸治)



■視覚障害者交流会 (11月20日)

自立生活センター・立川では、2019年より毎年1回、当センターとかかわりのある視覚障害のある方を対象とした交流会を行っており、11月20日(土)に通算3回目となる交流会を開催しました。

また、本会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、zoomを活用しオンラインでの開催としました。交流会では、コロナ禍の生活の変化を主なテーマとし、1年以上続くコロナ禍の中での生活の変化、最近の困りごと、今の楽しみなどについて語り合いました。参加者の方の発言からは、コロナ禍前と比べると不便なことは引き続きありながらも、それでも少しずつ新しい生活様式にも慣れ、この状況の中でそれぞれに自分らしい生活を作りながら過ごされていることがうかがえました。

更に後半では、コロナのことに関わらず生活の中で感じている困りごとやそれに対する工夫などについて共有し合う時間を取り、インスタントラーメンを安全においしく作るための工夫などの話題で盛り上がりました。

会の最後には、「同じ障害のある仲間と話せて楽しかった。」「普段一人で生活している中では思いつかなかったような工夫を知ることができてよかった。」等の感想もいただきました。

視覚障害者の皆さんが同じ障害のある仲間とつながったり生活に役立つ情報を共有したりできる場の一つとして、このような会の開催を来年度以降も継続していきたいと思えます。

(櫻井 未来)

■ピアサポートグループりらく立川 活動報告

ピアサポートグループりらく立川(以下、りらく)は、精神障害の当事者活動を行なっているグループです。自立生活センター・立川の職員が支援者として関わり、活動を支えています。

りらくの歴史は長く、2002年に活動がスタート。発足当時は“施設から地域へ”と盛んにうたわれていた時期でもあり、問題となっていた精神科病院での長期入院者を地域に戻すための事業を受けたりと、5~6年間は精力的に活動していました。やりがいを感じる一方で、事業として行なう活動が負担で辞めていくメンバーも出ました。2008年度以降は事業は受けず、メンバーのペースに合わせての活動にシフトチェンジしています。

現在は、第3木曜日の定例会で今後の活動について検討し、第4木曜日に東村山市にある多摩あおば病院への訪問と月2回の活動になっています。多摩あおば病院への訪問活動では、「りらくの会」という名称で、病棟の患者さんに参加してもらい、入院中の困りごとや主治医との関係、退院後の生活の不安などについてざくばらんに話をしています。りらくのメンバーも同じように精神科に通院していたり、入院経験もあるためか、「りらくの会」では病院のスタッフが聞き出せないような患者さんの思いや考えが話される場である、と病院側からも評価していただいています。

病院訪問は病棟の中に入って行なうため、ここ2年間はコロナの関係で病院側が面会など制限されることもあり、殆ど実施できずにおりました。病院側でようやくオンライン環境が整ったとのことで、昨年の11月から試行しながら再開しています。

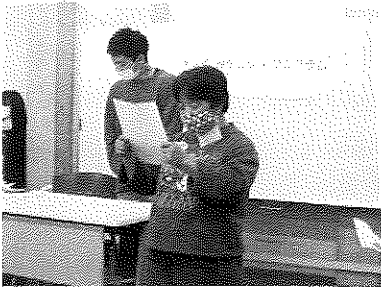
オンラインでは直接顔を合わせないため、患者さんやスタッフとの距離を感じてしまうのではないかと初めは不安に思っていたりらくメンバーですが、オンラインでも意外とお互いにやり取りができることがわかり、患者さん・スタッフと楽しいひとときを過ごすことができています。

コロナが落ち着いた時には、対面で患者さんに会えることを夢に見ながら、今できる形で病院とつながることを続けていければと考えています。

(清水 英子)

知的事業

■「大人の身だしなみプログラム～みんなでかっこよくなろう!～」(11月6日)



知的事業では、年に2回ほどプログラムを開催しています。今までお金やお部屋、食事、防災などをテーマとして様々なプログラムを行なってきました。しかし、新型コロナウイルスが流行してからはプログラムの開催は困難となっていました。

今回のプログラムは十分な感染対策を行なった上で、約2年ぶりの開催となり、6名の方がプログラムに参加して下さいました。テーマは「大人の身だしなみ」。コロナの影響により外出する機会が減ったこと

で、おしゃれや身だしなみに関心が薄れてしまった人が多いことや、「髪の毛を清潔に保つこと」は男女関わらないという観点から今回のプログラムを開催することに決めました。今回は、以前取材をさせていただいた美容室「BAROQUE」さんに講師としてご協力いただき、正しい頭の洗い方や髪質に合ったシャンプーについて教えていただきました。頭の洗い方のレクチャーでは、参加者にとって分かりやすいように、実際に髪の毛を洗っている様子の動画を視聴した後、美容室で使用しているマネキンを使って再現して下さいました。プログラム終了後にも、参加者一人ひとりから髪質についてのお悩みを聞いて下さり、その人の悩みに合ったシャンプーのサンプルを配って下さいました。参加者のみなさんも講師の方のお話を熱心に聞き、積極的に質問する様子が見られました。

美容師さんから直接お話を聞ける貴重な機会となり、久しぶりに色々な人との交流ができた日。参加者の皆さんにとって、より一層心に残るプログラムになったのではないかと思います。プログラムを企画、運営した内山さん、泉口さんと参加者の方々の感想を一部掲載します。

内山さん：久しぶりにプログラムを開催することが出来て良かったです。頭の洗い方を教えてもらうことができ、分からないことを聞いたなら丁寧に教えてくれたのも良かったです。

泉口さん：2年ぶりにプログラムができて、何よりBAROQUEさんに協力してもらうことができて良かったです。今後はこういった活動を伝えていくことにも重点を置いていきたいと思っています。

参加者：頭の正しい洗い方を教えてもらい、とても勉強になりました。プログラムに参加することができて良かったです。

美容室「BAROQUE」基本情報

住所：立川市柴崎町2-3-18条川ビル1階 電話番号：042-548-0380

営業時間：月～土曜日10:00～19:30・日曜日10:00～19:00

定休日：火曜日



■協力員スキルアップ研修(12月24日)

今回のスキルアップ研修では、「知的事業」で活動しているお二人がゲストスピーカーとして、それぞれのお仕事や生活についてお話しをしました。今回は、参加形態をオンライン、または直接会場に来ていただくハイブリッド方式とさせていただきます。オンラインでの参加が2名、直接会場にいらした方が3名、計5名の方が参加されました。オンラインだと参加が難しいという方も参加することができ、「久しぶりに仲間と交流することが出来て嬉しかった。」という声や、「二人の仕事について知ることが出来て良かった。」「自立生活について勉強になった。」という声もありました。お話しされた内山さん、泉口さんは、自分たちの仕事や生活について話すことで、改めて頑張ろうと思えたと思えたと研修の内容を振り返っていました。コロナの感染状況にもよりますが、今後もハイブリッド方式の積極的に導入し、お互いを知ることができる機会を大切にしていきたいと思っています。(椿 志野)

生活介護事業所 えんばわ

祝！えんばわ2周年記念「たこ焼きパーティー」／11月17日 水曜チーム

2021年11月で、えんばわは開所2周年を迎えることができました。日頃えんばわを支えてくださっている皆様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。そして、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

11月に2周年を記念して、水曜チームで「たこ焼きパーティー」を行いました(調理と食事の際は手洗いや消毒などの感染対策を充分に実施しています)。開催前に味の投票をしたところ、「おかずたこ焼き」の勝利！ホットケーキミックス使用の「おやつたこ焼き」も人気でしたが、僅差で敗れてしまいました。当日は、みんなで生地を作り、定番の具材の他にチーズを入れるアレンジも加え、立派なたこ焼きが出来上がりました。熱々のたこ焼きを「ハフハフ」しながら味わい、「美味しい～」と幸せそうな声を上げるメンバーさん。2周年にふさわしい、とても幸せな時間を過ごすことができました。最後は、2周年記念に作成した花束の壁画の前で写真をパシャリ。年々賑やかになるえんばわで、これからも楽しく、温かい思い出をたくさん作っていきたいです。下にメンバーさんからの感想を掲載します。

りょう：おいしかったよ！

なおちゃん：ハフハフ食べた！

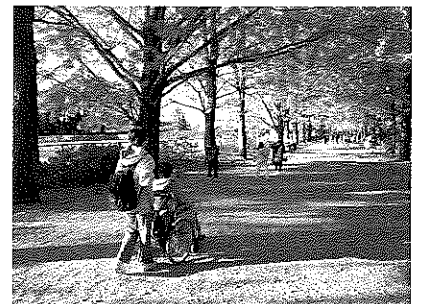
はるみつ：初めてたこ焼きを作った。



紅葉を見に行こう！ in 昭和記念公園／11月15日・24日 月曜チーム・水曜チーム



秋は木々の色づく季節。昭和記念公園ではイチョウが綺麗という噂を聞きつけ、月曜チームと水曜チームで、感染対策に気を付けながら、それぞれ出かけてきました。目的地とした並木道は2箇所。上品に切り揃えられ、噴水とイチョウのコラボレーションが堪能できる「カナルイチョウ並木」と、あっぱれと言わんばかりにイチョウが輝き生い茂る「かたらいのイチョウ並木」です。雰囲気異なる2つの並木道を散策し、素敵な写真を撮ることができました。並木道以外にも、園内をじっくり



散歩しながら、落ち葉の絨毯や色づく木々を見てまわるメンバーさん。肌寒い日でしたが、快晴の空の下存分に秋を感じ、良い運動になったと心も体もポカポカでした。下にメンバーさんからの感想を掲載します。

なーな：楽しかったから、また行きたいです。

ゆっきい：秋の紅葉、きれいでした。季節ごとに仲間と行けて嬉しいです。

試写会「バリアフルライフ」／11月25日 木曜チーム

「障害のある人もない人も共に暮らしやすい立川を考える会」さんが、立川市からの委託で作成した短編映画「バリアフルライフ」が完成したということで、試写会に行ってきました。障害のある人ならではの「あるある」が散りばめられた作品で、メンバーさんも共感しながら楽しく鑑賞することができました。上映後には、出演したキャストの方々が登壇しご挨拶。えんばわはなんと、キャストさんへの花束贈呈という大役を任せさせていただきました。緊張しながらも無事花束を渡すことができ、貴重な体験となりました。(金井 春奈)

わたし うご **私たちの動き (10/1~1/31)**

() は担当部門名 C I L・H L・はたらこ

【イベント・行事の実施】

(C I L)

- ・出前講座(2小, 3小, 8小, 西砂小, 幸小, 星槎国際高等学校)
- ・おすすめスポット取材
「立川ステージガーデン」(10/19)
- ・知的事業プログラム
「大人の身だしなみプログラム」(11/6)
- ・お出かけプログラム「みんなでつくろう! 日帰りリフレッシュツアー」(11/12)※
- ・視覚障害者交流会(11/20)※
- ・協力員スキルアップ研修(12/24)※
- ・ランチタイム「新年ごあいさつ会」(1/2)
- ・新春かくし芸大会(1/19)※

(はたらこ)

- ・お楽しみ会(11/5)
- ・茶話会(12/18)※

【連絡会・委員会・連携業務】

(C I L)

- ・障害を理由とする差別解消まちづくり協議会(10/4)
- ・障害のある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
地区別懇談(10/6, 12/15)
- ・立川市災害ボランティアネットZOOMで
学ぶ防災講座(10/9, 10/16, 11/20)※
- ・立川市自立支援協議会地域移行専門部会(10/15)
- ・障害のある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会定例会(10/18, 1/27)※
- ・立川市指定特定相談支援事業所連絡会(10/19)
- ・立川市障害者施策推進委員会(10/19)
- ・りらく定例会(10/21, 11/18, 12/16, 1/20)
- ・立川市民生委員児童委員協議会(10/22)
- ・多摩療護園オンブズパーソン定例会
(10/26, 11/26, 12/23, 1/27)
- ・障害を理由とする差別解消まちづくり協議会
作業部会(11/15, 1/24)
- ・立川市災害ボランティアネット定例会
(11/24, 12/22, 1/27)※
- ・りらくオンライン病院訪問(11/25, 12/23, 1/27)※
- ・立川市地域公共交通会議(12/15)

(H L)

- ・立川市自立支援協議会全体会(10/4)
- ・立川市自立支援協議会相談支援専門部会
(10/14, 11/25, 1/13)
- ・立川市障害者週間実行委員会(10/21, 11/18, 1/20)
- ・地域生活支援拠点等事業コーディネーター会議
(10/28, 11/25, 12/23, 1/27)

(はたらこ)

- ・立川市自立支援協議会全体会(10/4)
- ・立川市自立支援協議会就労部会(10/13, 11/9, 1/12)

- ・多摩地域就労支援事業連絡会(11/11)※
- ・多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会
(11/26, 1/14)※

【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・I L Pリーダーズ(10/28)※
- ・短編映画「バリアフルライフ」
制作記念イベント(11/25)
- ・バリアフリー障害当事者リーダー養成研修 in 沖縄
(11/30, 12/14, 17)※
- ・電子帳簿改正法(12/2)※
- ・J I L全国セミナー(12/14, 16, 17)※
- ・東京都サービス管理責任者更新研修(1/13)※
- ・東京都精神障害計画相談支援従事者等養成研修
(1/17, 26)※

(H L)

- ・立川市手をつなぐ親の会講演会(11/30)※
- ・立川市障害者週間イベント(12/6~12/12)
- ・障害者差別のない日野市をつくる会学習会(1/27)※

(はたらこ)

- ・障害者職業センター主催多摩職業リハビリテーション
ネットワーク情報交換会(10/28)※
- ・日本職業リハビリテーション学会関東ブロック研修
(11/6)※
- ・正夢の会主催 発達障害者支援研修(11/20, 1/29)※
- ・ふくしネットたちかわ全体研修(12/22)※

【講師派遣】

(C I L)

- ・明星大学(11/19)※
- ・東京学芸大学(1/31)※

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

・中野敏子 様 ・西山三枝子 様

(順不同)

とくていひえいりかつどうほうじん じりつせいかつせんたー たちかわ
特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-3134
URL : <http://cilt.sakura.ne.jp/>
Mail : cilt@sh.rim.or.jp

※印はオンライン



発行人
特定非営利活動法人
障害者団体
東京都世田谷区砧六丁目二二